

2020年2月

第113号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
TEL 018-883-1888

台湾総統選挙と民意の重み

2020年1月11日台湾総統選挙が行われ、民主進歩党(民進党)蔡英文(ツァイ・インウエン)総統が過去最多となる817万票(57%)を獲得し、親中路線の最大野党国民党候補・韓国瑜(ハン・グオユウ)高雄市長の550万票(39%)に圧勝し再選された。

蔡総統は選挙後の記者会見で「台湾は世界に対して、我々は自分たちの自由民主主義的生き方をどれほど大切に、自分たちの国をどれほど大切にしているかを示している」また、「平和とは武力行使を辞さないとする台湾への脅しを中国が放棄しなければならないことを意味する。私はまた中国当局が民主主義的な台湾も、我々の民主主義に基づいて選出された政府も脅迫や威嚇行為を認めないことを理解してくれると願っている。」と述べ中国に対する対話を呼びかけた。

今回の選挙に先立ち、昨年1月中国・習近平主席は武力行使も辞さない構えをちらつかせながら中国主導で「一国二制度」により中台統一を目指す意向を明らかとする演説を行った。これに対して蔡総統は直ちにこれを拒否する姿勢を鮮明としていた。

また、昨年以来、香港では「一国二制度」を形骸化させるような法律制定を目論む中国の動向に香港市民は強く反発し、民主化を求める香港市民の大規模デモが繰り返し行われている。これに対して中国当局の意向を受けた香港政府は多数の警察を投入し香港市民に対して容赦なく警棒を振るい催涙ガスを発射、時には実弾入りの銃を発射し死者が出るなど一線を越えたとみられる弾圧が続いている。さらに、香港では11月27日区議会選挙(地方選挙)が実施され民主派が452議席中390議席(86%)を獲得圧勝したが、こうした「民意」を中国当局が汲み取る気配が見えてこない。

中国では新疆ウイグル自治区やチベットでの中国政府に反対住民の弾圧の噂が後を絶たない、いわゆる人権問題に対する対応に対して不透明感が漂っている。

今回の選挙では、こうした力づくで相手を屈服させようとする中国の強硬な姿勢に対して、台湾市民がこれを明確に「拒否」の選択をしたことになる。

しかし、民主主義を守れたとしても経済面での脱中国は極めて厳しいものがある。2019年度の対中国の依存度を示す指標として、輸出額40.1%・海外生産46.7%・海外からの訪問客269万人(24%)などがあり中国を抜きにした経済成長は不可能に近い。また、中国にとっても台湾は海外進出の出入りに位置し安全保障体制構築するうえでも重要な拠点となっている。

アジアの平和と安定のためにも中台両国が政経分離でお互いが話し合いを深め安定した関係を築き上げることが今強く求められている。



創業の熱風が吹いているか



元慶應義塾大学 名誉教授 村田 昭治

創業の心の風化

企業理念、企業哲学、創業のコンセプト、これらは会社の大事な経営資源で、風化させてはならないものである。ところが、とくに社員数の多い大企業では、若い人ほど企業理念、企業哲学、創業の気持ち、創業者の考え方が十分に浸透していないように思われる。

その因は、社長の訓話にあまり出てこないし、先輩も伝えない風潮からきているものかもしれない。あるいは、創業のコンセプトが薄くなっている企業や組織、学校では、動機づけが薄弱になってきているのではないか。ただ自分のもち分を何とかこなすということで、終わってしまっただけではなるまいと思う。

創業の精神の現代化は何を意味するのかを、全員が問うていくべきだろう。その風化が進んでしまっただけでは、どうにもなるまい。歴史を繰り返すだけでは貧しい。

会社がなぜ大切なのか。歴史がなぜ大事なのか。問うていくと、会社の歴史的な沿革が会社のなかでの DNA、文化を創りあげてきていることに行きつく。

それを知り、理解することからすべては始まるのだということを意識すべきだと思う。

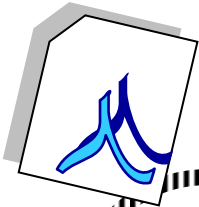
志で生きる人間の美学

信頼されている企業は、知恵を創造する力を持つ企業だ。どんな苦難に際しても、結束して会社を立て直すような技術開発をしている。そして、社員を感動させる目標を創っている。マグマが噴出するような熱力、魂の燃焼とっていい活力を組織のなかに生みだしている。志で生きている人間、臨機応変にあきらめない人間の美学をそこに感じる。

チャレンジするから市場の変化に応答できるし、夢があるから実現意欲がわいてくる。愛があるから楽しんで仕事をしようと思うし、哲学があるから学びつづけ、迫力が出る。知恵の圧や温かみの圧をもつ人が増えて行くと、会社は成長への歩みを始める。

そこには、顧客との共感性を高め、価値競争を征覇し、良い会社づくりに邁進しようという気概がある。全社員の心を束ねて、きつくない、固くない、柔らかい個人主義を大切にし、繋いでいく経営がある。

繋ぐというのは歴史を大事にすること、歴史観をベースにする考え方である。



渋沢 栄一 (幕臣・官僚・実業家・教育者)

天保11年2月13日(1840年)	現、埼玉県深谷市血洗島に父渋沢市郎右衛門元助、母エイの長男として生まれる。渋沢家は藍玉の製造販売と養蚕を兼営し米・麦・野菜などを手がける豪農だった。
1845年	5歳のころから読書、7歳の時は従兄の尾高惇忠の許で、四書五経や日本外史を学ぶ。剣術は大川平兵衛に神道無念流を学んだ。
1861年(21歳)	江戸に出て海保漁村の門下生となる。剣術は北辰一刀流千葉道場入門。
文久3年(1863年)	尊皇攘夷の思想に目覚めるが、高崎城乗っ取り計画は中止。京都へ。
同年	一橋家家臣平岡四郎の推挙により一橋慶喜に仕えた。
慶応2年(1866年)12月	徳川昭武(慶喜の異母弟)の随員としてパリ万国博覧会に将軍の名代一行として渡仏。
明治2年(1869年)10月	大蔵官僚となる。
明治6年(1873年)	予算編成をめぐって大久保利通・大隈重信等と対立。井上馨とともに退官した。
明治8年(1875年)	商法講習所設立。以降第一国立銀行・東京海上火災保険・王子製紙・帝国ホテル・キリンビールなど日本を代表する会社設立に携わり、その数は500社以上と言われる。病院設立や学校設立にも携わり「日本資本主義の父」と讃えられ「論語と算盤」に「道徳経営合一説」を打ち出した。2024年には1万円紙幣の肖像に予定されている。
昭和6年11月11日(1931年)	死去。享年91歳。
【栄典】	
昭和5年	紺綬褒章飾版。

オススメの BOOK



「反日種族主義」(日韓危機の根源)

著者 李 栄薫 (イ・ヨンフン) 出版社 文藝春秋

著者は元ソウル大学の教授。本書は6名による共同執筆。一言で言えば韓国内における民族的反日の実態と、事実を事実として見ない国民感情。竹島問題の歴史的な事実。徴用工の実態。慰安婦問題の当時の実情などについて韓国人の目で問題を提起している。

こうした物の見方が韓国内に少しでも浸透することを願わずにはいられない。事実を事実として直視する。そこから日韓関係の改善の糸口を見つけ出す一歩となれば幸いである。



他車運転特約について知っておこう！

他車運転特約とは、他人の車を運転中に事故を起こした場合、自分の自動車保険から補償が受けられる特約です。

基本的には、任意保険を契約することで、自動付帯となっていることが多いので特別な契約は必要ありません。

□対象車種と適用対象者及び補償内容

対象となる自動車については「自家用8車種」となっています。

1. 自家用普通乗用車
2. 自家用小型乗用車
3. 自家用軽四輪乗用車
4. 自家用普通貨物車（最大積載量0.5t超2t以下）
5. 自家用普通貨物車（最大積載量0.5t以下）
6. 自家用小型貨物車
7. 自家用軽四輪貨物車
8. 特種用途自動車（キャンピング車）

また、適用対象となる人は、記名被保険者及びその家族（配偶者及び同居親族、別居の未婚の子）で、補償の対象となるのは対人・対物事故、自損事故、車両事故です。車両の損害については、契約している自動車保険に車両保険がセットされている場合にのみ補償され、借りた車の時価額または対物賠償保険の保険金額が補償の限度額となります。この場合、借りた車に直接生じた損害に限って保険が適用され、車の修理期間中の代車費用などは補償の対象とならないのが普通です。

□免責になるケースに注意

- ・主に駐停車中など、「運転している時」以外（踏切や信号待ちなどは除く）

- ・被保険者が役員を務める法人の所有車を運転している時
- ・修理や運転代行など、自動車を取り扱う業務を受託して運転している時
- ・車の所有者（正当な権利を有する者）の承諾を得ていない時

□ノンフリート等級の扱い

自身の車の事故と同様に、保険を使うとノンフリート等級は下がります。対人賠償か対物賠償を適用した場合は3等級ダウンの事故となり、事故有係数適用期間は3年加算となります。

ただ、人身傷害のみを使った場合はノーカウント事故となり等級のダウンはありません。

事故を起こさないことが第一ですが、どうしても他人の車を借りなければならぬ状況や他人の車を借りて運転するケースは意外と多いものです。ちょっと車を移動させるといったように軽く他人の車を運転することは多いのではないのでしょうか。ほんの少しの間でもハンドルを握って運転する以上自動車事故のリスクは必ずあります。そんな時の備えとして他車運転特約の内容もしっかり確認しておきましょう。

便利なだけにその補償内容はとてもシビアです。いざ保険を使おうとした時に期待した補償を受けられないということもあるかもしれません。

今回ご紹介したのはあくまでも一般的な他車運転特約の概要です。保険会社によっては適用条件が異なる場合がありますのでご確認ください。

次回は具体例をあげてご説明します。



蔵王の樹氷

樹氷は亜高山帯に生息するアオモリトドマツが雪と氷に覆われてできます。近年、異常気象による強風や夏場の高温化で害虫の食害等が問題となっています。

【編集後記】

今年は克って体験したことのない暖冬が続いている。1月中にゴルフを普通にプレーできる異常気象と言える。しかし、夏の大型台風などと併せて考えると、異常と言っていない時代に入ったのかも知れない

中国では新型肺炎が発生している。春からは5Gの実用化の話題も活発化しそうだ。

「異常」でなく「正常」に世の中が発展変化して欲しい。